

# 友愛

Y U A I

105

平成24年8月1日発行

特集 感謝の気持ちが地域との  
交流に繋がっています

特集 将来の福祉を支える  
人材の育成へ

●ふれあい通信 ●スタッフエッセイ



社会福祉法人 北海道友愛福祉会

# 感謝の気持ちが 地域との交流に 繋がっています

それは、まるで「ご近所つき合い」のような普段着の地域交流へ。「相手がよろこんでくれれば、自分もうれしい」—そんな、江別盲人養護老人ホーム恵明園の職員個々の素朴な思いが原動力となっています。



恵明園 相談員  
横山 敦夫さん

## 道路沿いの 花植えのお手伝い

朝、9時から1時間くらい、地域の方々とともに参加させて頂きました。昨年に続いて2回目ですが、花はきれいですみんながワイワイ楽しみながらお手伝いしました。



恵明園 事務員  
五十嵐 明美さん

## 小中学校との 交流も活発に!

小学校の子どもたちが学習発表会を、恵明園まで来てご利用者のために再演してくれたり、子どもたちとの交流はご利用者の皆さんもとても楽しみにしています。



恵明園 支援員  
大村 悦子さん

## 地域交流には積極的に 参加しています

駅前から恵明園までの花植えは、2,000株以上あるので大変でしたが、恵明園への行き帰りにきれいな花を眺めるのが楽しみになりました。他にも、恵明園近くの公園や道路の清掃作業を行うなど、地域の美化に協力しています。

## 沿道の花植え作業に 今年も職員が参加

江別市豊幌美咲地区の町内会や小学校、老人クラブが毎年行っている道路沿い花壇の花植え作業。今年も6月に実施され、恵明園からも職員13名が昨年に引き続き参加しました。

ももとは、町内会の会長さんとお話しする中で、なにか地域のお手伝いができないかとはじめた活動です。まちの顔ともいえるJR豊幌駅周辺の沿道や恵明園周辺の通りなど、地域の皆さんとともに2000株ほどの花を植えて1時間ほど終了。赤いキンセンカや黄色いマリーゴールドなど、穴あけや植え付けなど作業を分担し、いかに見映えよくなるか考えながら植えました。「いったん植えると秋くらいまで咲きつづけ地域をなごませてくれます



恵明園  
主任生活相談員  
井口 豊さん

「お話を伺いました」

たご利用者を地域の方がわざわざ車で送り届けてくれたり、水辺でケガをしそうになったご利用者を手助けしてくれたり、ずいぶん地域の方々に助けて頂きました。今ではとても考えられない事ですが、そうやって恵明園はあたたかく見守られてきたのです。

## 今後は高齢者世帯の、 安否確認や除雪対応へ

恵明園の地域交流の主なものは、まず、ご利用者が縫った雑巾を小中学校5校へ寄贈（1校200枚）する活動で、最も長く続いている交流のひとつです。そのお返しとして各学校からタオルを贈ってもらおうようになり、雑巾を縫ったご利用者の皆さんと、タオルを集めた子どもたちがお互い行き来するようにするなど交流がさらに広がっています。

す。秋には枯れた花の残りをきれいに回収して翌年に備えます」と、主任生活相談員の井口豊さん。

恵明園では、このような地域交流を年間を通して行っていますが、園長の佐藤泉明さんは「夏祭りには地域の人々を招待するなど、ボランティアとか地域貢献という大袈裟なものではなく、40年以上も積み重ねてきたご近所つき合いみたいなものです」と淡々と語りま

## 2回の洪水被災から、 地域との交流を深める

その長い間の恵明園と地域との「ご近所つき合い」の中で、とりわけ大きな契機となったのが、昭和50年と昭和56年の2回の大洪水でした。「最大3メートル近い高さまで水が上がって、ほぼ1階の天井すべてが水に浸かったそうです。当時の写真を見るとこの地域一帯が水没し屋根しか見えない状況で、水が引くまで1週間くらいかかったと聞いています」と井口さん。その間、全道、全国から多くの支援を受けましたが、とりわけ地域の方々が「恵明園はどうなってる、大丈夫か?」とスコップを持ってドロ出しに駆けつけてくれ、これが大きな力となりました。そんな経緯から、地域への感謝の気持ちが強まり交流を深めていく事になったのです。

このような交流の中から、過去には道に迷った、また、地域のお祭りには、小学生が段ボールで作った御みこしを担いで訪れてくれたり、学習発表会の時期には、発表した劇などをご利用者の皆さんの前で再演してくれています。「子どもたちが来てくれると、ご利用者は特によこんで明るくなります」と職員も顔をほころばせます。

さらには、市消防の協力とともに地域の消防団や町内会も参加して行われる夜間の防災訓練。限られた職員での夜勤体制の中、懐中電灯を片手に毎年行っています。「夜の8時頃にサイレンを鳴らしご近所には迷惑でしょうが、クレーンなどはありません」と井口さん。今後についても、さらに地域で何ができるかを職員は集まって検討しています。具体的には、高齢者世帯の安否確認と冬の除雪の面で、町内会や民生委員など地域と連携しながら、可能な行動計画の策定を進めています。

# ふれあい通信

北海道友愛福祉会とご利用者の皆さんの  
日々のふれあいを、あふれる笑顔の  
写真と一緒にご紹介します。

## 友愛 ナーシングホーム

### ベランダの片隅で ちょこっと菜園

『葉っぱにも水をあげるんだよ。』  
『へえ～そうなんですか。』と、何事も  
教えて頂く事がいっぱいです。さすが  
人生の大先輩ですね！  
愛情込めて育てたイチゴをご利用  
者の皆さんと食べられる日が今から  
待ち遠しいです。



## 愛保育園

### 円山動物園へ 社会見学



6月12日、年長児ぞうぐみのお友だち  
がバスに乗り、円山動物園まで社会  
見学に行ってきました。ボランティア  
ガイドの方にいろいろ教えてもらい  
ながら動物を見た後は、お母さんの  
作ってくれたおいしいお弁当をパク  
パク。楽しい一日を過ごしましたよ。

## デイサービスセンター 友愛野幌

### とっても甘いワッフル作り♡



ご利用者の皆さんと生クリームとあんをサンドしたワッフルを作りました！  
生クリームは手で泡立てたので、とっても疲れましたが、頑張った分  
とってもおいしいワッフルを食べる事ができました(^v^)

## 静苑ホーム

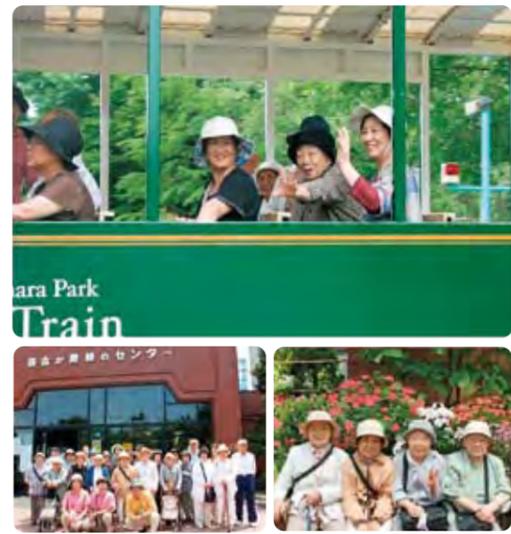
### 静苑ホーム名物 『よもぎもちつき大会』

朝早くから数量限定のよもぎもちを求める来  
場者であふれ、一時は、人の往来が困難にな  
るほどの盛況ぶりでした。ご家庭では、目にす  
る機会が減ってしまったもちつきに、昔を懐  
かしみながら杵を持つご利用者の皆さんが  
後を絶たず、終始、威勢の良い掛け声が上  
がっていました。



## ケアハウス ゆうあい

### 札幌の百合が原公園で 初夏を満喫♪



7月初旬、野外遠足で出掛けた百合が原  
公園は、まばゆいばかりの太陽の光と咲き  
誇る花々、緑いっぱいの自然の中で子ども  
のようにしゃぎ、たくさん笑って、こころ  
も体もリフレッシュ！みんなで食べたアイ  
スの味は、最高でした♪

## 恵明園

### こんな穴場スポット ありました！



いい天气が続いて、北海道の夏らしくなりました♪  
恵明園には、目の不自由なご利用者の皆さんが太陽の下、安全にお散歩できるように、手すり代わりの  
ロープを使用した散歩道があります。  
ご利用者の元気な姿と素敵な笑顔が見られる穴場  
スポットです♪



北海道留寿都高等学校  
農業福祉コース3年  
佐藤 哲平さん

江別市出身。江別市立角山中学校在学中に静苑ホームでのボランティアや職場体験を通し、福祉分野への興味を持つようになる。卒業後、福祉を学ぶために留寿都高校へ進学し、3年となった今年、静苑ホームで3週間の実習を体験。卒業後は、札幌の福祉専門学校への進学を予定。



車イスからベッドへの移乗。介護する方の個々の症状を見据えて、ゆっくりと自分の腰も痛めないよう配慮して慎重に行います。

初日は顔がこわばっていましたが、いまは笑顔も多くなり自信がついてきたようです。佐藤君は「報告」、「連絡」、「相談」が、本当によくできていました。その基本をしっかりする事がとても大切です。もっと成長した姿を見られる日を楽しみにしています。

実習現場担当  
静苑ホーム介護士  
三澤 一恵さん  
からのコメント

いますが、今後は個々の実習生へよりきめ細かな対応ができるように、指導者の研修などもさらに強化していくつもりです。  
この実習支援制度のほかにも静苑ホームでは、高校生の夏休みや冬休みに、1泊2日で介護を体験するワークキャンプを開催。さらに、中学校からの職場体験も行っています。  
今年の5月には、江別対雁小学校の生徒の施設見学を受け入れました。そ

の後、小学生とご利用者との交流が続くなど、実習支援制度だけでなく各種ボランティアの受け入れといった、地域とのさまざまな交流も行っています。  
**積極的な挨拶を心がけ、  
会話と笑顔がふえる**  
今回、実習生として来た佐藤さんは、まず最初の1週間でデイサービスを体験。2週目からは担当職員について、施

設介護実習を行いました。  
デイサービスでは毎回ご利用者が違うため、名前を覚えるのが大変だったり、実際の介護では個々のタイミングで食べて頂くよう食事介助するなど、とても多くの事を学ぶ事ができました。そして、なによりもコミュニケーションがうまくとれる事が大切だと実感しました。実習中、担当していたご利用者に、毎日、積極的に挨拶するよう心がけました。そのためか、徐々に会話と笑顔が

増えてきてうれしかったですね。職員の皆さんも親切で、指導はとても分かりやすく、学校で教わった基本技術の応用を、実際の介護現場で学ぶ事ができました。さらに、こうして体験する中で学校の授業だけでは分からなかった事が理解できたり、逆に、実際にやってみる事で難しさを実感する事もありました。いずれにしても、介護という仕事へのやり甲斐をさらに感じる事ができた実習となりました。と、話してくれました。

## 福祉の現場を広く体験できる独自の実習支援制度

# 将来の福祉を支える人材の育成へ

毎年、大学や専門学校から100名を超える実習生を受け入れている静苑ホーム。介護現場での実習のほか社会福祉士やヘルパー2級、栄養士の資格取得などにも対応しています。



### 実習と講話を取り入れ、 広い視野を養う力をつける

静苑ホームの実習支援制度は、福祉に興味をもち、そこで働きたいという意欲のある人材を育てるために取り組んできた活動です。  
実習生には必ず実務の担当者がつき、一人で迷ったり悩んだりしないようマンツーマンできめ細かな指導を行って

合施設のメリットを活かし、デイサービスとホームヘルパーでの実習や、介護老人ホームと老人保健施設の見学等をプログラム化し、福祉の現場を広く体験できる内容となっています。また、一日の実習後には担当者と話をするようにし、問題や悩みを先送りする事なく、思い込みや誤解をその日のうちに解決できるようにしています。  
その他、専用の無料宿泊室を備え、食



実習総括担当  
静苑ホーム介護係長  
前田 顕さん

現在、実習担当4名の体制で行って  
事費用負担の一部助成を独自に実施する等、学生が安心して実習が行えるように経済的にもサポートしています。  
**人生に関わる仕事の  
魅力と厳しさ**  
実習支援制度を通して、指導する現場の職員が逆に、実習生から学ぶ点も少なくありません。実習生に教える事でその仕事を見直し再確認する事になり、現場のさらなる活性化や新たなスキルアップにつながります。  
しかしながら、ご利用者には実習生との交流を楽しみにされている方がいる一方で、不安や苦手な思いを感じる方もいらっしゃいます。ご利用者への配慮を含め、実習生が貴重な体験をする現場が、ご利用者の大切な生活空間であるという事を忘れず、ご利用者の人生に関わる仕事の魅力と厳しさを知る事も大切な経験です。

## 実習をきっかけに 福祉への やり甲斐を感じ、 希望通りに 静苑ホームに 就職できました。



静苑ホーム介護福祉士  
山田 那奈さん

高校生のころ静苑ホームにボランティアで訪問したとき、静苑ホームの職員の方が「ご利用者の生活を支え、一緒に生きていける仕事なんだよ。」といった言葉を今でも覚えています。そのとき、介護福祉士ってすてきな仕事だなと思い、介護福祉士を目指すようになりました。  
その後、福祉の専門学校へ進学し、再度実習で静苑ホームに訪れたときも、職員の方々のご利用者へのきめ細かな対応や、思いやりのある対応を専門職の視点から学ぶ事ができました。そんなご縁のあった職場に、今年の4月就職する事になりました。まだまだ覚える事がいっぱい、ついていくのがやっどですが、毎日やり甲斐を感じながら働いています。

# スタッフ エッセイ

野幌第一地域包括支援センターに平成24年4月より異動となりました須賀貴子です。一昨年の秋に出産し、仕事と育児に奮闘する毎日です!!

ご利用者やご家族様から「赤ちゃん大きくなった?」などと質問され、皆さんに温かく見守ってもらっています。これからも息子共々どうぞよろしく申し上げます。



野幌第一地域包括支援センター 須賀 貴子

私は中学校と専門学校時代にバレーボールに所属し、練習に打ち込んできました。社会人になっても継続したいという思いから、毎週日曜日に社会人チームで練習を重ねています。学生時代の運動量には及びませんが、汗をかく事で頭も体もスッキリしますし、練習の翌日からは、新たな気持ちで仕事に取り組む事ができます。今後もチームワークの重要性を教えてくれるバレーボールを、生涯スポーツとして継続していきたいと思っています。



静苑ホーム 櫻井 俊樹

この4月から愛保育園の職員になりました! はじめて1歳児クラスの担当になり、毎日かわいい子どもたちと楽しく過ごしています。少しずつおしゃべりができるようになってきた子どもたちと色々なおしゃべりをたくさんして楽しませてもらっています。

たくさん遊んで過ごしていく中で、時にはちょっと怒ってしまうこともあります。それでも「せんせい♡」と甘えてきてくれると何でも許してしまいそうにもなります(笑)。

そんなかわいい子どもたちと

これからもいっぱい楽しみたいと思います。



愛保育園 室田 永美

ケアハウスで働くのは1年と日は浅いのですが、北海道友愛福祉会に勤めてはや数十年...まだ20代の頃...ああ~懐かしい。年々衰えてゆく体力と記憶力、なのに増えていく体重と食欲!! 先日も旅行に行き『海鮮丼!』をたっぷり食べ、「もう、お腹一杯で何も入らないねえ」と話していた事などすっかり忘れ、ホテルの夕食バイキングのお皿はてんこ盛り(@\_@)。旅行から帰ると制服のスカートが...キツイ!!

なのに、今度はどこへ行くか計画中。懲りないアラフォーです。



ケアハウスゆうあい 山田 環

恵明園に勤めて4年目に入り、日々切磋琢磨しています。先日、テレビで「ぶさかわいい」愛犬特集をやっていましたが、私の愛犬がすばり「ぶさかわいいパグ犬」で、毎日見ている飽きない顔をしています。散歩に行くと、元気な時はどこに行くにしても、先頭になって散歩したのですが、今は高齢になり、私の横に並んで散歩する事が多くなりました。愛犬の体力の衰えを感じつつも、日々癒されている今日この頃です。



恵明園 澤田 久美子

母親の音痴が原因で小学校よりピアノを習い、小学校3年生から現在に至るまで吹奏楽(チューバ)を演奏してきました。2000年には日本に5本しか輸入されなかった楽器を購入(車1台分)、2010年には念願の全国大会に出場することができました。また、苫小牧・函館・網走・帯広など道内さまざまな場所で演奏させて頂いております。今後も楽団のモットーでもある「徹して一人を大切に! 人に勇気と希望を与える演奏」をしてまいります。最後になりますが、音楽の道に導いてくださった恩師や諸先輩方、なによりも送り出して頂ける職場の皆さまに感謝の気持ちでいっぱいです。



友愛ナーシングホーム 上村 広伸

社会福祉法人  
**北海道友愛福祉会**  
<http://www.yuaifukushi.jp>

介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護  
**静苑ホーム**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の10  
TEL (011) 389-4165 FAX (011) 389-4166

**友愛野幌**

TEL (011) 391-3540 FAX (011) 389-4170

●通所介護

●訪問介護

●居宅介護支援・在宅介護支援センター

児童福祉施設  
**愛保育園**

〒069-0812 江別市幸町8番地の9  
TEL (011) 384-0330 FAX (011) 382-6587

江別盲人養護老人ホーム・短期入所生活介護  
ヘルパーステーション

**恵明園**

〒067-0027 江別市豊幌美咲町23番地の8  
TEL (011) 383-3351 FAX (011) 383-3598

**友愛江別**

TEL (011) 383-3362 FAX (011) 383-3598

●通所介護

●居宅介護支援・在宅介護支援センター

軽費老人ホーム  
**ケアハウスゆうあい**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12  
TEL (011) 382-1123 FAX (011) 382-1022

介護老人保健施設・短期入所療養介護  
通所リハビリテーション・居宅介護支援  
**友愛ナーシングホーム**

〒069-0806 江別市新栄台46番地の12  
TEL (011) 382-1110 FAX (011) 382-1022

江別市受託事業  
**野幌第一地域包括支援センター**

〒069-0801 江別市中央町31番地の6  
TEL (011) 381-2940 FAX (011) 381-2941

●介護予防支援